

統計委員会 第1回国民経済計算部会 議事要旨

1. 日時 平成19年11月26日(月) 17:05~18:37

2. 場所 中央合同庁舎第4号館2階 共用第3特別会議室

3. 出席者

(委員)

吉川部会長、大守委員、出口委員、野村委員、舟岡委員、高木臨時委員、中村臨時委員、藤井臨時委員、岩本専門委員、作間専門委員、橋本専門委員、深尾専門委員

(審議協力者)

竹内統計委員会委員長、ホリオカ大阪大学教授、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、日本銀行

(事務局)

中島内閣府統計委員会担当室長

黒田経済社会総合研究所長、広瀬次長、飛田総括政策研究官、大脇国民経済計算部長、長谷川企画調査課長、二村国民支出課長、二上国民生産課長、百瀬国民資産課長、大岡分配所得課長補佐

4. 議事

- (1) 部会長代理の指名について
- (2) 専門委員会の設置について
- (3) 専門委員会に属すべき委員、臨時委員及び専門委員の指名について
- (4) 国民経済計算の推計精度の向上に向けた取組について
- (5) 平成18年度国民経済計算確報について
- (6) 今後の審議課題等について

5. 議事要旨

【議題1： 部会長代理の指名について】

大守委員が指名された。

【議題2： 専門委員会の設置について】

【議題3： 専門委員会に属すべき委員、臨時委員及び専門委員の指名について】

(資料2、3について事務局より説明。案のとおり了承された。)

【議題4： 国民経済計算の推計精度の向上に向けた取組について】

(資料4-1、4-2について事務局より説明。以下、その後の主なやりとり。)

推計方法を変えることによってどの程度改善したのか、今後の部会において、具体的な改善幅を示されたい。

品目分割もできると思うが、90品目にこだわるのに理由はあるのか。  
今回の2品目に関しては出荷額ベースでの調整のため、品目数は変えずに推計するということ。

**【議題5：平成18年度国民経済計算確報について】**

(資料5-1, 5-2について事務局より説明。)

SNAと産業連関表、公会計において、公的機関の格付けがそれぞれ異なるのは問題。統計委員会の場において、相互調整を行っていくべき。

日本アルコール産業株式会社について、株式売却のスケジュールが大幅に遅れる場合には、実態に即した対応が必要。

日本アルコール産業株式会社は、閣議決定に従って19年度中に過半数の売却を完了すべく具体的準備が進められており、今回に関しては民間企業とすることが適当。

公的機関の格付けは、政府の政策にも影響を与えうることから、慎重に検討していくべき。

**【議題6：今後の審議課題について】**

(資料6, 7, 10について事務局より説明。)

事務局からの要望として資料7が示されているが、これに留まらず、必要とされる案件があれば各専門委員会において活発に議論されたい。

格付けやFISIMなどSNA全般に関するような問題については、各専門委員会だけでなく、他の専門委員会との合同部会等、横断的に検討できる場を設けること。

一次統計に対する意見・要望等も部会で検討し、統計委員会へフィードバックして欲しい。

専門委員から提出された資料8の具体的課題については、各専門委員会において検討すること。

なお、本議事要旨は速報版のため、事後修正の可能性があります。